

## 入札説明書

独立行政法人都市再生機構西日本支社の大和川左岸（三宝）地区 令和2年度換地設計修正その他資料作成業務に係る手続開始の掲示に基づく指名競争入札等については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

※ 本業務においては、資料の提出、入札等を電子入札システムにより行う。

但し、やむを得ない事由により電子入札により難しい者は、発注者の承諾を得て、紙入札方式に代えることができる（様式は、機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→電子入札→電子入札に参加される方へ→運用基準・様式等→「電子入札運用基準様式（紙入札申請・委任状）」からダウンロードできるので、参加表明書提出期限までに下記5(2)へ様式1及び2を提出すること。）。

- 1 手続開始の掲示日 令和2年7月1日
- 2 発注者  
独立行政法人都市再生機構西日本支社 支社長 新居田 滝人  
大阪府大阪市城東区森之宮一丁目6番85号
- 3 業務概要
  - (1) 業務名 大和川左岸（三宝）地区 令和2年度換地設計修正その他資料作成業務
  - (2) 業務内容 主な業務内容は以下のとおりである。  
大和川左岸（三宝）地区における
    - ① 権利再調査
    - ② 換地設計修正
    - ③ 仮換地の使用収益開始通知書作成
  - (3) 業務の詳細な説明 別添「大和川左岸（三宝）地区 令和2年度換地設計修正その他資料作成業務特記仕様書」による。
  - (4) 履行期間 令和2年9月上旬（契約締結日の翌日）から令和3年11月30日（木）まで（予定）
  - (5) 履行場所 大阪府堺市堺区
- 4 指名されるために必要な要件
  - (1) 独立行政法人都市再生機構会計実施細則（平成16年独立行政法人都市再生機構達第95号）第331条（契約を締結する能力を有しない者又は破産者で復権を得ていない者）及び第332条（当機構から取引停止措置を受け、その後2年間を経過しない者）の規定に該当する者でないこと。
  - (2) 参加表明書の提出期限の日から開札の時までの期間に、当機構から本件

業務の履行場所を含む区域を措置対象区域とする指名停止を受けていないこと。

- (3) 暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者でないこと（詳細は当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→入札心得・契約関係規程→入札関連様式・標準契約書→標準契約書等について→「別紙 暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者」を参照）。
- (4) 当機構関西地区における令和2・3年度測量・土質調査・建設コンサルタント等業務に係る一般競争参加資格を有している者で、業種区分「土木設計」に係る競争参加資格の認定を受けていること。
- (5) 平成22年度以降（平成22年4月1日から参加表明書の提出日まで。以下本項において同じ。）に完了（下請け受注による業務の実績は含まない。）した、次に示す「同種業務」の実績を2件以上有すること。
  - ・ 同種業務：国、地方公共団体、地方住宅供給公社、独立行政法人都市再生機構、土地区画整理組合又は区画整理会社において発注された施行地区面積15ha以上の土地区画整理事業（ただし、土地区画整理法（昭和29年法律第119号）第3条第2項、同条第3項、同条第4項、同条第5項、第3条の2及び第3条の3の規定による施行に限る。）に係る区画整理関連業務のうち、「換地設計」又は「換地計画」の業務。
- (6) 次に掲げる基準を満たす管理技術者を本件業務に配置できること。
  - ① 下記のいずれかの資格又は経験を有する者であること。
    - ・ 土地区画整理士の資格を有する者。
    - ・ 技術士「建設部門（都市及び地方計画）」又は「総合技術監理部門（都市及び地方計画）」の資格を有し、技術士法による登録を行っている者。
    - ・ R C C M「都市計画及び地方計画部門」の資格を有し、「登録証書」の交付を受けている者。
  - ② 平成22年度以降に、上記(5)に掲げる業務に管理技術者として従事した経験を有する者であること。
  - ③ 参加表明書の提出期限日時点において、当該企業と雇用関係があること。なお、「雇用関係」が確認できる資料を添付すること。また、雇用関係がないことが判明した場合は、「虚偽の記載」として取扱う。
- (7) 入札参加者を指名するための基準  
参加表明書の内容について、別紙1の評価基準に従いそれぞれ評価を行い評価点を算出するものとし、評価点の合計が高いものから原則10者を指名する。  
また、評価点の合計が高いものから指名して同点により10者以上となった場合は、当該者全てを指名するものとする。参加表明者が10者に満たない場合は表明者数とする。なお、参加表明者が10者に満たない場合でも、評価基準において非指名とする場合に該当した参加表明者は指名しない。

## 5 担当部署

### (1) 公募条件ほか(2)以外について

〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町四丁目274番地2

独立行政法人都市再生機構西日本支社都市再生業務部堺都市再生事務所  
事業計画課 電話072-282-7722

### (2) 入札手続及び一般競争参加資格について

〒536-8550 大阪府大阪市城東区森之宮一丁目6番85号

独立行政法人都市再生機構西日本支社

総務部契約課 電話06-6969-9848

## 6 参加表明書の提出等

### (1) 本競争の参加希望者は、次に従い、参加表明書を提出しなければならない。発注者は、参加表明書を提出した者の中から競争入札に参加する者を指名する。

参加表明書を提出することができる者は、参加表明書を提出する時において、4(4)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けている者とする。

なお、提出期間内に参加表明書が提出場所に到達しなかった場合は、指名されない。また、指名されなかった場合には、本競争に参加することができない。

#### ① 一般競争参加資格の申請

4(4)の認定を受けていない者も次に従い参加表明書を提出することができる。この場合において、4(1)から(3)まで及び(5)から(7)までに掲げる事項を満たしているときは、開札のときにおいて4(4)に掲げる事項を満たしていることを条件として指名通知をし、又は非指名理由を通知するものとする。当該確認を受けた者が競争に参加するためには、開札のときにおいて4(4)に掲げる事項を満たしていなければならない。

については、4(4)の認定を受けていない者は、下記②と別に、以下のとおり一般競争（指名競争）参加資格審査申請書（測量・建設コンサルタント等）及び添付書類を提出して、測量・建設コンサルタント等業務に係る競争に参加する資格の審査を申請すること（詳細は当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→競争参加資格→建設コンサルタント等→「随時受付」の項を参照）。

イ 提出期間：令和2年7月1日（水）から令和2年7月9日（木）（参加表明書提出期限日の4営業日前）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前10時から午後5時まで

ロ 提出場所：5(2)に同じ。

ハ 提出方法：提出場所へ持参し、又は一般書留郵便により郵送（上記提出期間内に必着）することにより行うものとし、電送によるものは受け付けない（申請書類等を封入した封筒の表、左下及び同申請書の余白に「『大和川左岸（三宝）地区 令和2年度換地設計修正その他資

料作成業務』申請希望（開札日：令和2年8月26日）」と朱書きすること。）。

② 参加表明書の提出

イ 提出期間：令和2年7月2日（木）から令和2年7月15日（水）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前10時から午後5時まで

ロ 提出場所：5(2)に同じ。（紙入札方式の者は5(1)に同じ。）

ハ 提出方法：参加表明書の提出は、電子入札システムにより受け付けを行う。

但し、やむを得ない事由により、発注者の承諾を得たうえ紙入札方式による者は、一般書留郵便により郵送（上記提出期間内に必着。表封筒に「『大和川左岸（三宝）地区 令和2年度換地設計修正その他資料作成業務』に係る参加表明書在中」と朱書きすること。）することにより行うものとし、提出場所への持参又は電送によるものは受け付けない。

(2) 参加表明書は、別記様式1から別記様式6までにより作成すること。

(3) 参加表明書は、別紙2に従い作成すること。

(4) 指名する者に対しては、令和2年8月3日（月）までに電子入札システム（紙入札方式の者は書面）にて通知する。

(5) その他

① 参加表明書の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

② 提出された参加表明書は、返却しない。

③ 発注者は、提出された参加表明書を、入札参加者の選定以外に提出者に無断で使用しない。

④ 提出期間以降における参加表明書の差替え及び再提出は認めない。

⑤ 電子入札システムで提出する場合の注意事項

電子入札システムにより提出する場合は、ファイル形式はWord2010形式以下のもの、Excel2010形式以下のもの、PDF形式又は画像ファイル（JPEG形式及びGIF形式）で作成すること。

ファイルを圧縮して提出する場合は、LZH又はZIP形式を指定するものとする。但し、自己解凍方式は指定しないものとする。

契約書などの印がついているものは、スキャナーで読み込み、本文に貼り付けること。

全てのファイル容量の合計が2MBを超える場合は、全ての書類を、(1)②の紙入札方式の者と同様の提出期間、場所及び方法により、提出すること。この場合、電子入札システムでの提出との分割は認められない（容量2MBまでの一部ファイルは電子入札システム、容量を超えた分は書面、といった提出方法は認めないので、必要書類の全てをまとめて提出すること）。併せて、電子入札システムにより、以下の内容を記載したものを「添付資料」に添付し、送信すること。

・（電子入札での提出以外の提出方法）とする旨の表示

- ・ 提出する書類の目録
- ・ 提出する書類のページ数
- ・ 提出年月日

## 7 非指名理由の説明

- (1) 参加表明書を提出した者のうち、指名しなかった者に対して、指名しなかった旨及び指名しなかった理由（以下「非指名理由」という。）を電子入札システム（紙入札方式の者は書面）により通知する。
- (2) 指名しなかった旨の通知を受けた者は、発注者に対して非指名理由について、次に従い、説明を求めることができる。
  - ① 提出期限：令和2年8月19日（水）午後5時
  - ② 提出場所：5(2)に同じ。（紙入札方式の者は5(1)に同じ。）
  - ③ 提出方法：電子入札システムにより提出すること（様式は自由）。  
但し、紙入札方式の者は、一般書留郵便により郵送（上記提出期限までに必着）することにより行うものとし、提出場所への持参又は電送によるものは受け付けない。
- (3) 発注者は、説明を求められたときは、令和2年8月24日（月）までに説明を求めた者に対し電子入札システム（紙入札方式の者は書面）により回答する。但し、一時期に苦情件数が集中する等合理的な理由があるときは、回答期間を延長することがある。
- (4) 発注者は、提出期限の徒過その他客観的かつ明らかに申立ての適格を欠くと認められるときは、その申立てを却下する。

## 8 入札説明書等に対する質問

- (1) 設計図書（仕様書、図面及び現場説明書等をいう。）及びこの入札説明書に対する質問がある場合においては、次に従い、提出すること（様式は自由）。
  - ① 提出期間：令和2年7月2日（木）から令和2年8月5日（水）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前10時から午後5時まで
  - ② 提出場所：5(2)に同じ。（紙入札方式の者は5(1)に同じ。）
  - ③ 提出方法：電子入札システムにより提出すること（様式は自由）。  
但し、紙入札方式の者は、一般書留郵便により郵送（上記提出期間内に必着）することにより行うものとし、提出場所への持参又は電送によるものは受け付けない。
- (2) (1)の質問がある場合には、回答書を、次のとおり閲覧に供する。
  - ① 期間：令和2年8月21日（金）から令和2年8月25日（火）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前10時から午後5時まで
  - ② 方法：電子入札システムによる。  
但し、紙入札方式の者がいる場合は、併せて5(1)において閲覧に供する。

## 9 入札及び開札の日時及び場所

### (1) 入札書の提出期間及び場所

- ① 提出期間：令和2年8月24日（月）から令和2年8月25日（火）正午まで
- ② 提出場所：5(2)に同じ。

### (2) 開札の日時及び場所

- ① 日時：令和2年8月26日（水）  
※ 開札時間は、指名通知に併せて通知する。
- ② 場所：5(2)に同じ。

但し、紙入札方式の者がいる場合は、独立行政法人都市再生機構西日本支社 3階契約情報公開コーナー対面ブース

## 10 公正な入札の確保

入札参加者は公正な入札の確保に努めなければならない。

- (1) 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。
- (2) 入札参加者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札参加者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に価格を定めなければならない。
- (3) 入札参加者は、落札者の決定前に、他の入札参加者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。

## 11 入札方法等

- (1) 入札書は、電子入札システムにより提出すること。

但し、紙入札方式の者は、作成した入札書（様式は当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→電子入札→電子入札に参加される方へ→運用基準・様式等→「入札書標準様式（電子入札用）」※紙入札の場合のみ使用）を参照）について、一般書留郵便により郵送（提出期限までに必着）すること。提出場所への持参又は電送による入札は受け付けない。

なお、郵送は、二重封筒とし、表封筒及び中封筒に各々封をすること。

中封筒には、入札書のみを入れること。入札書には必要事項を記入のうえ、押印（入札参加者が年間受任者をして入札をさせるときは年間委任状が必要（代理人の場合は委任状）である。）したものを中封筒に入れ、封をして割印し、業務名、開札入札日時及び入札者名を明記すること。また、入札書については、入札案件ごとに封をすること。

表封筒は、必要事項を記入のうえ、上記の中封筒（及び年間委任状又は委任状）を入れ、封をして割印すること。

- (2) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、

消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

- (3) 入札執行回数は、原則として2回を限度とする。

但し、2回目の入札で落札者がいないときは、直ちに又は別に日時を定めて、2回目の入札参加者の中から希望者を募り、見積り合わせを行うことがある。なお、見積り合わせの執行回数は、原則として2回を限度とする。

- (4) 本件業務において、入札に参加する者が当機構の関係法人1者だった場合は、当該手続を中止し、再公募を実施する。

## 12 入札保証金及び契約保証金

- (1) 入札保証金 免除

- (2) 契約保証金 請負代金額の10分の1以上を納付。但し、金融機関又は保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

## 13 開札

開札は電子入札システムにより行うこととし、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて開札を行う（電子入札運用基準「5. 開札」の項を参照）。

但し、紙入札方式の者は、入札者又はその代理人が開札に立ち会うこと（電子入札システムにて入札を行う者は、立会は不要。）。なお、入札参加者が第1回目の開札に立ち会わない場合でも、当該入札参加者の入札は有効として取り扱うが、再度の入札を行うこととなった場合には、再度の入札を辞退したものとして取り扱う。

## 14 入札の無効

本掲示において示した指名されるために必要な要件のない者のした入札、参加表明書に虚偽の記載をした者のした入札並びに入札心得（当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→「入札心得・契約関係規程」のページ又は「電子入札」のページを参照）等において示した条件等入札に関する条件に違反した入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には、落札決定を取り消す。

なお、発注者により指名された者であっても、開札の時ににおいて指名停止要領に基づく指名停止を受けているものその他の開札の時ににおいて4に掲げる要件のないものは、指名されるために必要な要件のない者に該当する。

## 15 落札者の決定方法

- (1) 独立行政法人都市再生機構会計規程（平成16年独立行政法人都市再生機

構規程第4号)第52条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札した者を落札者とする。

ただし、その者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。

16 手続における交渉の有無 無

17 契約書作成の要否等

標準契約書(土木設計業務等請負契約書(意匠権条文:B))(様式は当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→入札心得・契約関係規程→入札関連様式・標準契約書を参照)により、契約書を作成するものとする。

18 支払条件

前金払30%以内、出来高による部分払6回及び完成払

19 関連情報を入手するための照会窓口

5に同じ。

20 独立行政法人が行う契約に係る情報の公表について

独立行政法人が行う契約については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)において、「独立行政法人と一定の関係性を有する法人と契約をする場合には、当該法人への再就職の状況、当該法人との間の取引等の状況について情報を公開するなどの取り組みを進める」とされているところです。

これに基づき、以下のとおり、当機構との関係に係る情報を当機構のホームページで公表することとしますので、所要の情報の当方への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくよう御理解と御協力をお願いいたします。

なお、案件への応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承願います。

また、応札若しくは応募又は契約の締結を行ったにもかかわらず情報提供等の協力をしていただけない相手方については、その名称等を公表させていただくことがあり得ますので、ご了承願います。

(1) 公表の対象となる契約先

次のいずれかにも該当する契約先

① 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること



- ② 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等として再就職していること
- (2) 公表する情報  
 上記に該当する契約先について、契約ごとに、工事、業務又は物品購入等契約の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表します。
- ① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者(当機構OB)の人数、職名及び当機構における最終職名
- ② 当機構との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 1者応札又は1者応募である場合はその旨
- (3) 当方に提供していただく情報
- ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高
- (4) 公表日  
 契約締結日の翌日から起算して72日以内

## 21 その他

- (1) 入札参加者は、入札心得及び契約書案並びに電子入札運用基準を熟読し、入札心得を遵守すること。
- (2) 参加表明書に虚偽の記載をした場合においては、参加表明書を無効とするとともに、指名停止措置要領に基づく指名停止を行うことがある。
- (3) 落札者は、参加表明書に記載した配置予定の技術者等を本件業務に配置すること。
- (4) 電子入札システムは、土曜日、日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除く毎日、8時30分から20時00分まで稼動している。  
 システムを停止する場合等は、当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→電子入札→お知らせにおいて公開する。
- (5) システム操作マニュアルは、当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→電子入札→操作マニュアルにおいて公開している。
- (6) 障害発生時及び電子入札システム操作等の問合せ先は下記のとおりとする。
- ・ システム操作・接続確認等の問合せ先  
 電子入札システムヘルプデスク  
 TEL：0570-021-777（ナビダイヤル）

E-mail : sys-e-cydeenasphelp.rx@ml.hitachi-systems.com

(※ナビダイヤルが利用できない場合)

よくある質問 (当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→電子入札→操作方法に関するお問い合わせ先)

URL : <https://www.ur-net.go.jp/order/e-bid.html>

- ・ ICカードの不具合等発生時の問合せ先

ICカードを取得した各電子入札コアシステム対応の認証局のヘルプデスクへ問合せすること。

ただし、申請書類、応札等の締め切り時間が切迫しているなど緊急を要する場合には、5(2)へ連絡すること。

- (7) 入札参加希望者が電子入札システムで書類を送信した場合には、下記に示す通知、通知書及び受付票を送信者に発行するので必ず確認を行うこと。この確認を怠った場合には、以後の入札手続に参加できなくなる等の不利益な取扱いを受ける場合がある。

- ・ 参加表明書受信確認通知 (電子入札システムから自動通知)
- ・ 参加表明書受付票 (受付票を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 指名通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 辞退届受信確認通知 (電子入札システムから自動通知)
- ・ 辞退届受付票 (電子入札システムから自動発行、受付票を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 日時変更通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 入札書受信確認通知 (電子入札システムから自動通知)
- ・ 入札書受付票 (電子入札システムから自動発行、受付票を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 入札締切通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 再入札通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 再入札書受信確認通知 (電子入札システムから自動通知)
- ・ 落札者決定通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 決定通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 保留通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 取止め通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)
- ・ 中止通知書 (通知書を発行した旨を副次的にメールでも知らせる。)

- (8) 契約の履行に当たって、暴力団員等から不当要求・不当介入を受けた場合は、必ず警察への届出又は相談を行い、機構に対してもその事実内容を

報告すること。なお、下請業者が同様の要求等を受けた場合についても、必ず警察への届出又は相談を行うよう指導し、機構に対してもその事実内容を報告すること。

- (9) 落札者は、個人情報及び重要な情報の取扱いに関する「個人情報等の保護に関する特約条項」(様式は当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→入札心得・契約関係規程→入札関連様式・標準契約書を参照)を契約書と同日付で締結するものとする。
- (10) 落札者は、外部電磁的記録媒体に関する「外部電磁的記録媒体の利用に関する特約条項」(様式は当機構ホームページ→入札・契約情報→入札・契約手続き→入札心得・契約関係規程→入札関連様式・標準契約書を参照)を契約書と同日付で締結するものとする。
- (11) 本件業務は、業務成績評定対象業務である。落札者には、業務完了後業務成績評定点を通知する。付与した業務成績評定点は、将来業務発生時に価格以外の評定項目として使用することがある。

以 上

※ お車でのご来場は、周辺道路の交通渋滞を招く恐れがありますので、固くお断り申し上げます。

別紙 1

入札参加者を指名するための基準

参加表明書の内容については、以下の評価項目についてそれぞれ評価を行い、評価点を算出する。

評価項目	評価の着目点		評価ウエイト
	判断基準		
企業の経験及び能力	資格要件	技術部門登録 (様式2) 当機構関西地区における令和2・3年度建設コンサルタント等業務に係る競争参加資格について、業種区分が「土木設計」の認定を受けていること。	数値化しない
	迅速性	在営業拠点等の所 (様式5) 営業拠点等の所在地を下記の順位で評価する。 ①大阪府内に技術者が1名以上常駐する本店、支店又は営業所等を有する。 ②上記以外の当機構関西地区に技術者が1名以上常駐する本店、支店又は営業所等を有する。	①10点 ②5点
	専門技術力	成果の確実性 (様式3) 平成22年度以降（平成22年4月1日から参加表明書提出日まで）に受注し、業務完了（下請け受注による業務の実績は含まない。）した「同種業務」に係る実績を下記の順位で評価する。 ・同種業務：国、地方公共団体、地方住宅供給公社、独立行政法人都市再生機構、土地区画整理組合又は区画整理会社において発注された施行地区面積15ha以上の土地区画整理事業（但し、土地区画整理法（昭和29年法律第119号）第3条第4項、同条第5項、第3条の2及び第3条の3の規定による施行に限る。）に係る区画整理関連業務のうち、「換地設計」又は「換地計画」の業務。 ①同種業務の実績が3件以上ある。 ②同種業務の実績が2件ある。 なお、同種業務の実績があると認められない場合は指名しない。	①15点 ②10点

配置予定の技術者等の経験及び能力	資格要件	<p>技術者資格</p> <p>(様式4) 配置予定の管理技術者の保有資格等について、下記の順位で評価する。</p> <p>① 下記の全ての資格を有し登録を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地区画整理士</li> <li>・ 技術士「建設部門（都市及び地方計画）」又は「総合技術監理部門（建設－都市及び地方計画）」</li> </ul> <p>② 下記の資格を有し登録を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地区画整理士</li> </ul> <p>③ 下記の何れかの資格を有し登録を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地区画整理士</li> <li>・ 技術士「建設部門（都市及び地方計画）」又は「総合技術監理部門（建設－都市及び地方計画）」</li> <li>・ シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）「都市計画及び地方計画部門」</li> </ul> <p>なお、上記①～③に記載の資格を有すると認められない場合は指名しない。</p>	<p>① 10点</p> <p>② 7点</p> <p>③ 5点</p>
	専門技術力	<p>業務執行技術力</p> <p>(様式4) 平成22年度以降に受注し、業務完了（下請け受注による業務の実績は含まない。）した入札説明書4(5)に記載する同種業務における管理技術者としての実績を下記の順位で評価する。</p> <p>① 同種業務の実績が2件以上ある。</p> <p>② 同種業務の実績がある。</p> <p>なお、同種業務の実績があると認められない場合は指名しない。</p>	<p>① 15点</p> <p>② 10点</p>
実施方針	<p>妥当性実施体制の</p> <p>(様式6) 特記仕様書に記載している「再委託」の内容に抵触する場合は指名しない。</p>	<p>—</p>	
合計			50点

## 別紙 2

### 参加表明書の作成方法

参加表明書は、次に従い作成すること。

なお、2の同種業務の実績及び3の配置予定の技術者の業務の経験については、平成22年度以降（平成22年4月1日から参加表明書提出日まで）に受注し、業務完了（下請け受注による業務の実績は含まない。）しているものに限り記載すること。

#### 1 登録状況

入札説明書4(4)に掲げる資格があることを判断するため、参加表明時に当機構関西地区における令和2・3年度測量・土質調査・建設コンサルタント等業務（業種区分：土木設計）に係る一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けている者は、別記様式2に認定通知書の写しを添付すること。

#### 2 同種業務の実績

入札説明書4(5)に掲げる資格があることを判断できる、同種業務の実績を別記様式3に記載すること。記載する同種業務の実績の件数は、最大3件までとし、様式1枚につき2件までを記載すること。

#### 3 配置予定の管理技術者の資格又は経験、同種業務の実績

入札説明書4(6)に掲げる資格があることを判断できる、配置予定の管理技術者について、別記様式4に記載すること。記載する同種業務の実績の件数は、最大2件までとし、様式1枚以内に記載すること。

#### 4 営業拠点等の所在地

当機構関西地区に有する営業拠点等について、別記様式5に記載すること。

#### 5 業務の実施体制

本業務の実施体制について、別記様式6に記載すること。

#### 6 契約書の写しその他の疎明資料

2又は3の同種業務の実績として記載した業務に係る契約書の写し等のほか、各様式下部の注意書きに記載する疎明資料を提出すること。

別記様式 1

(用紙 A 4)

参加表明書	
年 月 日	
独立行政法人都市再生機構西日本支社	
支社長 新居田 滝人 殿	
提出者	住 所
	商号又は名称
	代表者氏名
	㊟
登録番号※	
連絡先	部署
	担当者名
	電話番号
	FAX番号
<p>令和2年7月1日付けで手続開始の掲示のありました大和川左岸（三宝）地区 令和2年度換地設計修正その他資料作成業務に係る指名競争に参加を希望し ます。</p> <p>なお、独立行政法人都市再生機構会計実施細則（平成16年独立行政法人都 市再生機構達第95号）第331条各号の規定に該当する者でないこと及び参加表 明書の内容については事実と相違ないことを誓約します。</p>	

注) 参加表明書として別記様式 1 から別記様式 6 まで及び別途指定する証明資料等を提出してください。

なお、返信用封筒として、表に提出者の住所・氏名を記載し、簡易書留料金分を加えた所定の料金（404円）の切手を貼った長 3 号封筒を参加表明書と併せて提出してください（紙入札で参加する場合にのみ必要です（電子入札で参加する場合には必要ありません。）。）。

※ 当機構関西地区における令和2・3年度測量・土質調査・建設コンサルタント等業務に係る競争参加資格について、業種区分が「土木設計」の認定を受けている者は、登録番号を記載すること。

## 別記様式 2

- ・当機構関西地区における令和2・3年度測量・土質調査・建設コンサルタント等業務（業種区分：土木設計）に係る競争参加資格の認定

提出者：\_\_\_\_\_

令和2・3年度測量・土質調査・建設コンサルタント等業務（業種区分：土木設計）に係る一般競争参加資格の認定認定書の写しを添付すること。



### 別記様式 3

- ・参加表明者の平成22年度以降に受注し完了した同種業務実績

提出者：

業務名		
TECRIS 登録番号		
契約金額		
履行期間		
発注機関名 (担当部 局) 住所 TEL		
業務の概要		

注：記入に際しては本様式で最大3件までの記載とし、様式1枚につき2件までを記載すること。なお、記載した業務に係る契約書（仕様書を含む。）の写し等を添付すること。ただし、TECRISに登録されている場合は、TECRISの登録内容確認書の写しで代えられるが、仕様書の写しも併せて提出すること。

別記様式 4

・配置予定管理技術者の経歴等

提出者：

①氏名						
②所属・役職						
③保有資格・部門・取得年月日						
④区画整理実務経験	会社名	所属	役職	従事期間	従事内容	
⑤同種業務経歴 (平成22年度以降、最大3件)	業務名					
	TECRIS登録番号					
	契約金額					
	履行期間					
	発注機関名 (担当部局)					
	業務の概要					

注1：記入に際しては本様式1枚とし、記載した業務に係る契約書（仕様書を含む。）及び技術者届等の写し等を添付すること。ただし、TECRISに登録されている場合は、TECRISの登録内容確認書の写しで代えられるが、仕様書の写しも併せて提出すること。

注2：保有資格確認のため「技術士等登録証明書、RCCM登録書、土地区画整理士技術検定合格証明書」の写しを添付すること。

注3：雇用関係の確認のため健康保険証の写しを添付すること。

## 別記様式 5

- ・ 営業拠点等の所在地

提出者： \_\_\_\_\_

本社・支店・営業所等の区分	
住所	
電話番号	
F A X 番号	
代表者氏名（役職名）	
常駐する技術者の数 及び有資格者数 （専門分野別）	

注：当機構関西地区における、技術者が1名以上常駐する本店、支店又は営業所等を記載すること。

別記様式 6

- ・業務の実施体制

提出者：

業務実施 体制	
重要情報又は 個人情報の 管理体制	

注：本頁の記入に際しては2枚までとする。

下請負等の 予定	(委任又は請け負わせる者)
	(委任又は請け負わせる内容)
技術協力の 予定	(協力先)
	(協力を求める内容)

注：技術協力とは、業務の一部について学識経験者等の第三者から指導又は助言を受けることをいう。